



セキュリティソフト

PASS (Password Authentication Security System) × AES

ユーザーズマニュアル

■本マニュアルの内容

表面	Windowsで[PASS × AES]を使用する [PASS × AES]を使用する前に [PASS × AES]を使用してデータを保護する [PASS × AES]の設定を変更する
裏面	Macintoshで[PASS × AES]を使用する [PASS × AES]を使用する前に [PASS × AES]を使用してデータを保護する [PASS × AES]の設定を変更する 動作環境とユーザーサポート 動作環境 ユーザーサポートについて

■はじめに

本ユーザーズマニュアルは、USBメモリで使用するセキュリティソフト[PASS (Password Authentication Security System) × AES]を利用して、データを保護する方法について説明しています。ご使用になる前によくお読みください。

■ご使用にあたって

- セキュリティソフト[PASS × AES]について、消去、破損について当社は一切の保証をいたしません。誤って削除するとセキュリティソフト[PASS × AES]が使用できなくなりますので、注意してください。
- 大切なデータは万が一の場合にそなえ、他の記憶媒体などに、定期的にバックアップされることをお勧めします。
- パソコンの電源が入った状態で、USBメモリをパソコンから取り外す際には、[PASSフォルダ]を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。[[PASSフォルダ]を隠す]を参照してください。無理に取り外すと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。
- 消失・破損したデータに関しては、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗号化機能を使用する場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。暗号化/復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域をUSBメモリ内に確保する必要があります。保存するデータが1GBの場合、1GB(データ)+1GB(作業領域)=2GBの空き容量が必要です。

セキュリティソフト[PASS × AES]を使用する場合は、他(当社/当社以外全て)のUSBメモリと同時に使用しないでください。[PASS × AES]または他のUSBメモリのソフトが誤動作を起こす可能性があります。

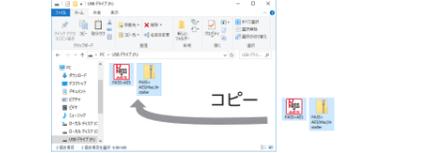
Windowsで[PASS × AES]を使用する

[PASS × AES]を使用する前に

[PASS × AES]は、[PASS × AES]プログラムをUSBメモリ内にコピーして使用します。次の方法で、[PASS × AES]プログラムをお使いのUSBメモリ内にコピーしてください。

- ホームページからUSBメモリ用セキュリティソフト[PASS × AES]をパソコンのデスクトップ上にダウンロードします。
- ダウンロードしたファイルを解凍してください。[PASS × AES(.exe)]と[PASS × AES(Mac)Installer(.zip)]、[readme.txt]の3個のファイルが現れます。
- お使いのUSBメモリを認識しているUSBドライブまたはリムーバブルディスクをダブルクリックし、このフォルダ内に[PASS × AES(.exe)]と[PASS × AES(Mac)Installer(.zip)]をコピーします。

[PASS × AES(Mac)Installer(.zip)]はMacintosh用のインストーラーです。Macintoshで使用する場合は、[Macintoshで[PASS × AES]を使用する]をお読みください。



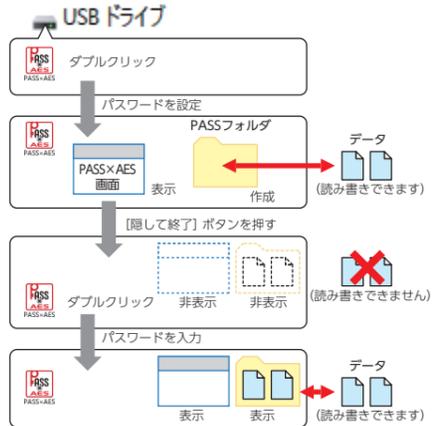
[PASS]をご使用の場合
[PASS(.exe)]と[PASS.app フォルダ]を一旦削除してから、[PASS × AES(.exe)]と[PASS × AES.app フォルダ]をコピーしてください。パスワード、パスワードレスの設定は引き継がれます。

必ずUSBメモリ内にコピーした[PASS × AES(.exe)]を実行してください。パソコンのデスクトップやフォルダからは実行できません。



[PASS × AES]を使用してデータを保護する

[PASS × AES]を使用してUSBメモリ内に[PASSフォルダ]を作成します。そのフォルダにデータを保存し、隠す(非表示にする)ことで、データを保護することができます。



[PASSフォルダ]はWindowsパソコン/Macintosh共通で使用できます。

正しいパスワードを入れることができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して、当社は一切の責任を負いません。また、一切の保証をいたしません。

セキュリティソフト[PASS × AES]では、[PASSフォルダ]内のみが保護対象となります。[PASSフォルダ]以外にあるデータは保護されません。また、開くごとにパスワードを入力する必要はありません。

[PASSフォルダ]を作成する

[PASS × AES]をはじめて起動したときは、USBメモリ内に[PASSフォルダ]を作成します。

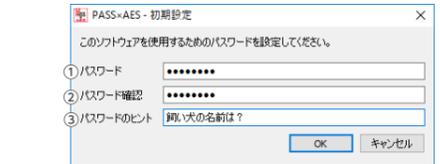
作成した[PASSフォルダ]を削除した場合も、次の手順で作成し直してください。

- [PC]、[コンピューター]などからUSBメモリをダブルクリックします。例えば、パソコンの最後のドライブがEの場合、[USBドライブ(F:)]または[リムーバブルディスク(F:)]と表示されます。

- USBメモリ内の[PASS × AES(.exe)]をダブルクリックします。初期設定画面が表示されます。

はじめて起動したときは、「[使用許諾書]」の画面が表示されます。内容をよくお読みになり許諾をいただいた上で「[同意する]」を選択して、「[次へ]」ボタンをクリックしてください。

- 各項目を入力します。



- パスワード
任意のパスワードを半角英数字63文字以内で入力します。
- パスワード確認
①で入力したパスワードを再度入力します。
- パスワードのヒント
パスワードを忘れたときに、思い出すがかりになるようなヒントを入力します。入力しなくてもかまいません。設定すると、認証画面の[ヒント...]ボタンをクリックして、設定したパスワードのヒントを表示できます。

解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。

- [OK]ボタンをクリックします。USBメモリ内にセキュリティフォルダ[PASSフォルダ]が作成されます。

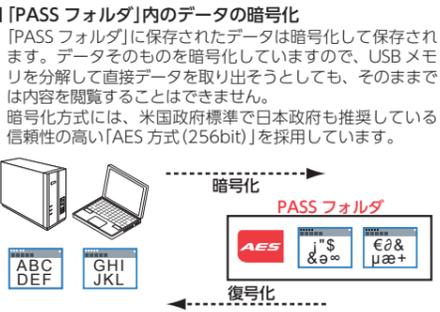
また、PASS × AES画面が表示されます。

[PASSフォルダ]はWindowsパソコン/Macintosh共通で使用できます。



- フォルダ名は変更できます。
- ご使用環境により、USBメモリ内に「ごみ箱」が表示されますが、「[PASS × AES]」の仕様です。異常ではありません。

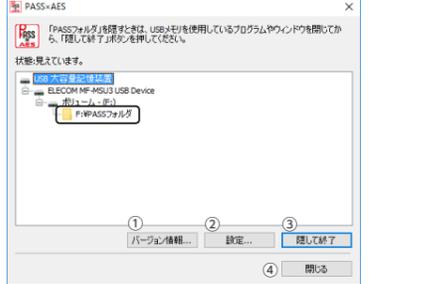
■[PASSフォルダ]内のデータの暗号化
[PASSフォルダ]に保存されたデータは暗号化して保存されます。データそのものを暗号化していますので、USBメモリを分解して直接データを取り出そうとしても、そのままでは内容を閲覧することはできません。暗号化方式には、米国政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES方式(256bit)」を採用しています。



暗号化されるのは[PASSフォルダ]に保存したデータのみです。

■PASS × AES画面

このPASS × AES画面から[PASSフォルダ]を隠したり、[PASS × AES]の設定を変更したりすることができます。



- [バージョン情報]ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。
- [設定]ボタン
[PASS × AES]の設定を変更する]を参照してください。

- [隠して終了]ボタン
[PASSフォルダ]を隠す]を参照してください。
- [閉じる]ボタン
クリックすると、PASS × AES画面を閉じます。ただし、「[PASSフォルダ]」は読み書きできる状態です。

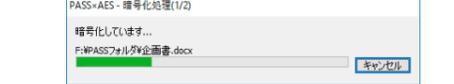
[PASSフォルダ]を隠す

[PASSフォルダ]を隠して(非表示にして)、USBメモリ内から見えなくします。「[PASSフォルダ]」のデータが読み書きできなくなります。

パソコンの電源が入った状態で、USBメモリをパソコンから取り外す際には、「[PASSフォルダ]」を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。

その後、タスクトレイまたは通知領域上で「[ハードウェアの安全な取り外し]」を行ってください。無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。

- USBメモリ内から起動しているプログラムやウィンドウを閉じます。
- PASS × AES画面で[隠して終了]ボタンをクリックします。
- [PASSフォルダ]内のデータを暗号化して、「[PASSフォルダ]」を見えなくします。



[PASSフォルダ]を表示しているときに、PASS × AES画面が表示されていない場合は、USBメモリ内の[PASS × AES(.exe)]をダブルクリックするか、タスクトレイまたは通知領域の[隠]アイコンをクリックすると、PASS × AES画面が表示されます。

暗号化機能を使用する場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。暗号化/復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域をUSBメモリ内に確保する必要があります。保存するデータが1GBの場合、1GB(データ)+1GB(作業領域)=2GBの空き容量が必要です。

[PASSフォルダ]およびPASS × AES画面を表示する

[PASSフォルダ]を表示してデータを読み書きする場合や、PASS × AES画面を表示して[PASS × AES]の設定を変更する場合は、次の手順で[PASS × AES]を起動します。

- USBメモリ内の[PASS × AES(.exe)]をダブルクリックします。認証画面が表示されます。
- パスワードレスとして登録しているパソコンに接続している場合は、パスワードを設定していても認証画面は表示されず、[PASS × AES]が起動します。「パスワードを入力せずに[PASS × AES]を起動する]を参照してください。

- [パスワード]を入力し、[OK]ボタンをクリックします。
[パスワード]を入力し、[OK]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。
- [ヒント...]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

[PASSフォルダ]内の暗号化されたデータを復号化します。USBメモリ内に[PASSフォルダ]が表示されます。

また、PASS × AES画面が表示されます。

[PASS × AES]を起動したときに、PASS × AES画面が表示されないように設定することもできます。[[PASS × AES]起動時にPASS × AES画面を表示しない]を参照してください。

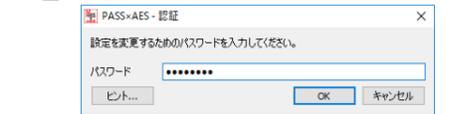
USBメモリを取り外すときは、「[PASSフォルダ]」を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。



[PASS × AES]の設定を変更する

[PASS × AES]の設定を変更するときは、次の手順で設定画面を表示し、各設定を変更します。

- PASS × AES画面の[設定]ボタンをクリックします。認証画面が表示されます。
- PASS × AES画面が表示されていない場合は、「[PASSフォルダ]」およびPASS × AES画面を表示する]を参照してください。
- [パスワード]を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



[ヒント...]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

設定画面が表示されます。各設定の詳細は、以降を参照してください。

[PASS × AES]起動時にPASS × AES画面を表示しない

[PASS × AES]を起動したときに、PASS × AES画面を表示しないように設定できます。

- 設定画面を表示し、[全般]タブで[起動時にウィンドウを表示しない]にチェックを入れます。



- 設定画面の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。

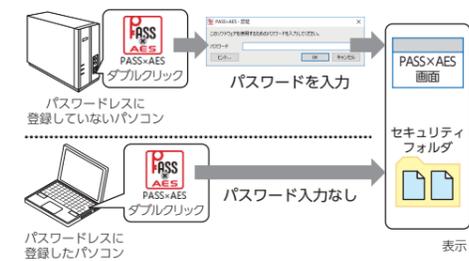
パスワードを変更する

現在設定しているパスワードとヒントを変更できます。

- 設定画面を表示し、[パスワード]タブをクリックします。
各項目を入力します。詳細は、「[PASSフォルダ]を作成する]の手順3を参照してください。
- 設定画面の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。

パスワードを入力せずに[PASS × AES]を起動する

いつもご使用になっているご自分のパソコンなどをパスワードレスパソコンとしてあらかじめ登録しておく、パスワードを入力しなくても[PASS × AES]を起動できます。他のパソコンではデータを盗み見されないように保護し、ご自分のパソコンですぐに読み書きしますので、頻りにデータをやり取りする場合などに便利です。



登録したパソコンにお使いのUSBメモリを接続した場合にのみ、[PASS × AES(.exe)]をダブルクリックするだけで、すぐにPASS × AES画面と[PASSフォルダ]が表示されます。

■パスワードレスパソコンを登録する

WindowsパソコンとMacintoshを合わせて3台まで登録できます。

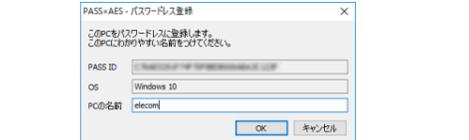
登録するパソコンにお使いのUSBメモリを接続し、お使いのUSBメモリを接続したパソコンのみ登録することができます。必ず登録するパソコンに[PASS × AES]をコピーしたUSBメモリを接続し、以降の操作を行ってください。

- 設定画面を表示し、設定画面の[パスワードレス]タブをクリックします。



- [登録]ボタンをクリックします。パスワードレス登録画面が表示されます。

- [PCの名前]を入力し、[OK]ボタンをクリックします。Windowsの情報が自動的に入力されますが、任意の名前に変更できます。

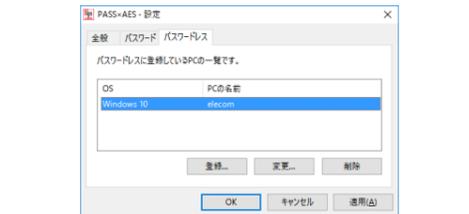


- 設定画面の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。

■登録したパスワードレスパソコンの名前を変更する

登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも変更できます。

- 設定画面を表示し、[パスワードレス]タブで変更するパスワードレスパソコンの[PCの名前]を選択します。



- [変更]ボタンをクリックします。パスワードレス変更画面が表示されます。
- [PCの名前]を変更し、[OK]ボタンをクリックします。

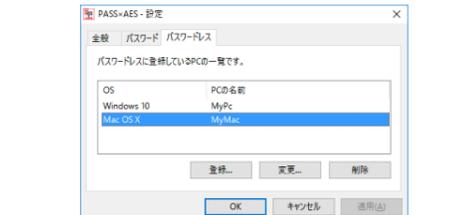
- 設定画面の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。

- [削除]ボタンをクリックします。パスワードレス変更画面が表示されます。

■登録したパスワードレスパソコンを削除する

登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも削除できます。

- 設定画面を表示し、[パスワードレス]タブで削除するパスワードレスパソコンの[PCの名前]を選択します。



- [削除]ボタンをクリックします。確認画面が表示されます。
- [はい]ボタンをクリックします。

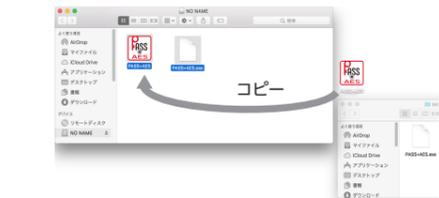
- 設定画面の[OK]ボタンまたは[適用]ボタンをクリックします。

Macintoshで[PASS × AES]を使用する

[PASS × AES]を使用する前に

[PASS × AES]は、[PASS × AES]プログラムをUSBメモリ内にコピーして使用します。次の方法で、[PASS × AES]プログラムをお使いのUSBメモリ内にコピーしてください。

- 1 ホームページからUSBメモリ用セキュリティソフト[PASS × AES]をパソコンのデスクトップ上にダウンロードします。
 - 2 ダウンロードしたファイルを解凍します。[PASS × AES(Mac)Installer.zip]と[PASS × AES.exe]、[readme.txt]の3個のファイルが現れます。
 - 3 [PASS × AES(Mac)Installer.zip]を解凍します。[PASS × AESInstaller]が現れます。
 - 4 [PASS × AESInstaller]をダブルクリックします。デスクトップにMac用のプログラムファイル[PASS × AES]が配置されます。
 - 5 お使いのUSBメモリのマウントされているアイコンをダブルクリックし、このフォルダ内に[PASS × AES]を、解凍したフォルダから[PASS × AES.exe]をコピーします。
- [PASS × AES.exe]はWindowsで使用するプログラムです。



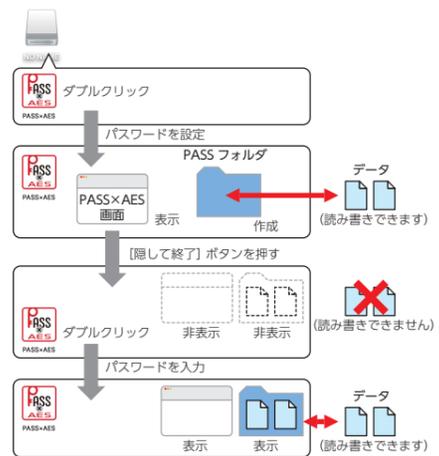
[PASS]をご使用の場合
[PASS]と[PASS.exe]を一旦削除してから、[PASS × AES]と[PASS × AES.exe]をコピーしてください。パスワード、パスワードレスの設定は引き継がれます。

必ずUSBメモリ内にコピーした[PASS × AES]を実行してください。Macintoshのデスクトップやフォルダからは実行できません。



[PASS × AES]を使用してデータを保護する

[PASS × AES]を使用してUSBメモリ内に[PASS フォルダ]を作成します。そのフォルダにデータを保存し、隠す(非表示に)することで、データを保護することができます。



[PASS フォルダ]はMacintosh / Windows パソコン共通で使用できます。

正しいパスワードを入れることができないことによる、データの強制消去、内容確認が不可能になる事態、その他に対して、当社は一切の責任を負いません。また、一切の保証をいたしません。

[PASS フォルダ]を作成する

[PASS × AES]をはじめて起動したときは、USBメモリ内に[PASS フォルダ]を作成します。

- 1 作成した[PASS フォルダ]を削除した場合も、次の手順で作成し直してください。
- 1 デスクトップにマウントされたUSBメモリをダブルクリックします。
- 2 USBメモリ内の[PASS × AES]をダブルクリックします。初期設定画面が表示されます。
- 1 はじめて起動したときは、「使用許諾書」の画面が表示されます。内容をよくお読みになり許諾をいただいた上で「同意する」を選択して、「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 3 各項目を入力します。



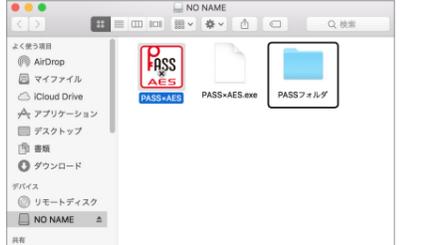
- 1 パスワード
任意のパスワードを半角英数字63文字以内で入力します。
- 2 パスワード確認
①で入力したパスワードを再度入力します。
- 3 パスワードのヒント
パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなヒントを入力します。入力しなくてもかまいません。設定すると、認証画面の[ヒント]ボタンをクリックして、設定したパスワードのヒントを表示できます。



- 1 解除される恐れがあるような、簡単なパスワードや分かりやすいヒントを設定しないように注意してください。
 - 4 [OK]ボタンをクリックします。USBメモリ内にセキュリティフォルダ[PASS フォルダ]が作成されます。また、PASS × AES画面が表示されます。
- [PASS フォルダ]はMacintosh / Windows パソコン共通で使用できます。

■ [PASS フォルダ]

この[PASS フォルダ]に保存したデータを保護することができます。



フォルダ名は変更できます。

■ [PASS フォルダ]内のデータの暗号化

[PASS フォルダ]に保存されたデータは暗号化して保存されます。データそのものを暗号化していますので、USBメモリを分解して直接データを取り出そうとしても、そのままでは内容を読めることはできません。暗号化方式には、米国政府標準で日本政府も推奨している信頼性の高い「AES方式(256bit)」を採用しています。



暗号化されるのは[PASS フォルダ]に保存したデータのみです。

■ PASS × AES画面

このPASS × AES画面から[PASS フォルダ]を隠したり、[PASS × AES]の設定を変更したりすることができます。



- 1 [バージョン情報] ボタン
クリックすると、バージョン情報が表示されます。
- 2 [設定] ボタン
「[PASS × AES]の設定を変更する」を参照してください。
- 3 [隠して終了] ボタン
「[PASS フォルダ]を隠す」を参照してください。
- 4 [閉じる] ボタン
クリックすると、PASS × AES画面を閉じます。ただし、[PASS フォルダ]は読み書きできる状態です。

[PASS フォルダ]を隠す

[PASS フォルダ]を隠して(非表示にして)、USBメモリ内から見えなくします。[PASS フォルダ]のデータが読み書きできなくなります。

パソコンの電源が入った状態で、USBメモリをパソコンから取り外す際には、[PASS フォルダ]を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。その後、ドライブアイコンをゴミ箱にドラッグして、デスクトップからUSBメモリのドライブアイコンが消えたことを確認して、USBメモリを取り外してください。無理に取り外しますと、ファイルが消失したり、故障の原因になります。

- 1 USBメモリ内から起動しているプログラムやウィンドウを閉じます。
- 2 PASS × AES画面で[隠して終了]ボタンをクリックします。
- 3 [PASS フォルダ]内のデータを暗号化して、[PASS フォルダ]を見えなくします。



[PASS フォルダ]を表示しているときに、PASS × AES画面が表示されていない場合は、USBメモリ内の[PASS × AES]をダブルクリックするか、Dockの[PASS × AES]アイコンをクリックすると、PASS × AES画面が表示されます。

暗号化機能を使用する場合、実質使用可能容量は表示容量の約半分になります。暗号化 / 復号化の際にはデータとは別に、同じ容量の作業領域をUSBメモリ内に確保する必要があります。保存するデータが1GBの場合、1GB(データ)+1GB(作業領域) = 2GBの空き容量が必要です。

[PASS フォルダ]およびPASS × AES画面を表示する

[PASS フォルダ]を表示してデータを読み書きする場合や、PASS × AES画面を表示して[PASS × AES]の設定を変更する場合は、次の手順で[PASS × AES]を起動します。

- 1 USBメモリ内の[PASS × AES]をダブルクリックします。初期設定画面が表示されます。

パスワードレスとして登録しているパソコンに接続している場合は、パスワードを設定していても認証画面は表示されず、[PASS × AES]が起動します。「パスワードを入力せずに[PASS × AES]を起動する」を参照してください。

- 2 「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



[ヒント]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

[PASS フォルダ]内の暗号化されたデータを復号化します。USBメモリ内に[PASS フォルダ]が表示されます。



また、PASS × AES画面が表示されます。

[PASS × AES]を起動したときに、PASS × AES画面が表示されないように設定することもできます。「[PASS × AES]起動時にPASS × AES画面を表示しない」を参照してください。

USBメモリを取り外すときは、[PASS フォルダ]を隠してください。隠さないで取り外すと、エラーメッセージが表示されます。



[PASS × AES]の設定を変更する

[PASS × AES]の設定を変更するときは、次の手順で設定画面を表示し、各設定を変更します。

- 1 PASS × AES画面の[設定]ボタンをクリックします。認証画面が表示されます。
- 1 PASS × AES画面が表示されていない場合は、「[PASS フォルダ]およびPASS × AES画面を表示する」を参照してください。
- 2 「パスワード」を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



[ヒント]ボタンをクリックすると、設定したパスワードのヒントを表示できます。

設定画面が表示されます。各設定の詳細は、以降を参照してください。

[PASS × AES]起動時にPASS × AES画面を表示しない

[PASS × AES]を起動したときに、PASS × AES画面を表示しないように設定できます。

- 1 設定画面を表示し、[全般]タブで「起動時にウィンドウを表示しない」にチェックを入れます。



- 2 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

パスワードを変更する

現在設定しているパスワードとヒントを変更できます。

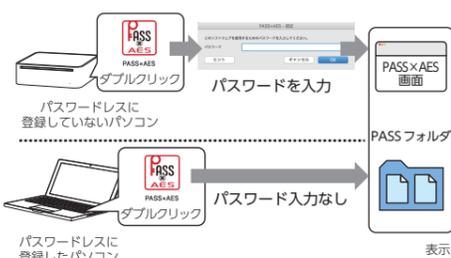
- 1 設定画面を表示し、「パスワード」タブをクリックします。



- 2 各項目を入力します。詳細は、「[PASS フォルダ]を作成する」の手順3を参照してください。
- 3 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

パスワードを入力せずに[PASS × AES]を起動する

いつもご使用になっているご自分のパソコンなどをパスワードレスパソコンとしてあらかじめ登録しておくこと、パスワードを入力しなくても[PASS × AES]を起動できます。他のパソコンではデータを盗み見されないように保護し、ご自分のパソコンですぐに読み書きしますので、頻りにデータをやり取りする場合などに便利です。



登録したパソコンにお使いのUSBメモリを接続した場合のみ、[PASS × AES]をダブルクリックするだけで、すぐにPASS × AES画面と[PASS フォルダ]が表示されます。

■ パスワードレスパソコンを登録する

MacintoshとWindowsパソコンを合わせて3台まで登録できます。

- 1 登録するパソコンにお使いのUSBメモリを接続します。
- 1 お使いのUSBメモリを接続したパソコンのみ登録することができます。必ず登録するパソコンに[PASS × AES]をコピーしたUSBメモリを接続し、以降の操作を行ってください。
- 2 設定画面を表示し、設定画面の「パスワードレス」タブをクリックします。



- 3 [登録]ボタンをクリックします。パスワードレス登録画面が表示されます。
- 4 [PCの名前]を入力し、[OK]ボタンをクリックします。Macintoshの情報が自動的に入力されますが、任意の名前に変更できます。



- 5 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

■ 登録したパスワードレスパソコンの名前を変更する

登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも変更できます。

- 1 設定画面を表示し、「パスワードレス」タブで変更するパスワードレスパソコンの「PCの名前」を選択します。



- 2 [変更]ボタンをクリックします。パスワードレス変更画面が表示されます。
- 3 [PCの名前]を変更し、[OK]ボタンをクリックします。



- 4 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

■ 登録したパスワードレスパソコンを削除する

登録したパスワードレスパソコン以外のパソコンからでも削除できます。

- 1 設定画面を表示し、「パスワードレス」タブで削除するパスワードレスパソコンの「PCの名前」を選択します。



- 2 [削除]ボタンをクリックします。確認画面が表示されます。
- 3 [OK]ボタンをクリックします。



- 4 設定画面の[OK]ボタンをクリックします。

動作環境とユーザーサポート

動作環境

USB 3.0/2.0 インターフェースを装備し、Windows 10/8.1/8/7(SP1含む)/Vista(SP1,SP2)/XP(SP3)が動作するWindowsパソコンおよびMac OS X 10.4、10.5、10.6、10.7、10.8、10.9、10.10、10.11、10.12が動作するMacintosh
※機種によっては動作しない場合があります。

ユーザーサポートについて

【よくあるご質問とその回答】

www.elecom.co.jp/support
こちらから「製品 Q&A」をご覧ください。

【お電話・FAXによるお問い合わせ(ナビダイヤル)】

エレコム総合インフォメーションセンター
TEL : 0570-084-465
FAX : 0570-050-012

【受付時間】
10:00 ~ 19:00
年中無休

セキュリティソフト

PASS(Password Authentication Security System) × AES
ユーザーズマニュアル

2016年11月25日 第4版

- ・本ユーザーズマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- ・本ユーザーズマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一不明な点がございましたら、サポートセンターまでご連絡願います。
- ・本製品の仕様は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ・Windows および Windows ロゴは、マイクロソフトの企業グループの商標です。
- ・Mac および Mac ロゴは、合衆国及びその他の国々で登録されているアップル社の商標です。
- ・その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。